

わが家のアイドル



たなはら ゆうと
棚原 裕翔
平成24年10月17日生まれ

母：直美
父：誠健（字宮平）
健やかに育ってネ

わが家のアイドルコーナーでは、満3歳までのちびっこを募集しています。掲載写真はお返しします。総務課広報担当までご連絡ください。

☎889-4415

町文化協会 受賞者を祝福

南風原町文化協会(仲本明光会長)で平成25年に沖縄県文化協会などから表彰を受けた会員5名・1団体の祝賀会が12月14日、中央公民館で開かれました。仲本会長は「みなさまの受賞は文化協会会員および町民の誇りです。今後も南風原町の活気あるまちづくりにご尽力いただきたいと思います」と受賞者を称えました。県文化協会功労賞を受賞した瀬底榮子さん(兼本ハイツ、写真右から3人目)は「これからも南風原の芸能発展のために頑張ってまいります」と喜びを語りました。受賞者は次のとおりです。

- 沖縄県文化協会功労賞 瀬底榮子さん
- 奨励賞 神谷三千代さん
- 団体賞 町文化協会民謡部会
- 南風原町文化芸能功労賞 大城鶴子さん
- 赤嶺秀子さん
- 沖縄タイムス芸術選奨奨励賞 若柳美津留さん



受賞の祝福を受けた会員ら

はえばる NEWS

待望の信号機が設置されました

宮平保育所先、津嘉山西線と国道507号の交差点の2カ所にこのほど、信号機が設置されました。両箇所とも、保育園や学校が近くにあり通



笑顔で渡り初めを行う
はえばる保育園の園児たち

園・通学路となっていることから、地域住民から信号機設置が長い間要望されていました。

11月26日、津嘉山西線の交差点で信号機の点灯式が催され、町関係者や与那原署員、はえばる保育園の園児たちが渡り初めを行いました。城間町長は「地域の安心・安全のために応えてくれた与那原署に感謝します。交通マナーを守って交差点を渡りましょう」とあいさつしました。

町更生保護女性会に県警本部長表彰

地域社会の犯罪・非行の未然防止の啓発や、青少年の健全な育成のサポートなどの活動を行っている町更生保護女性会(神里ヨシ子会長)が、多年にわたって安全・安心なまちづくりに貢献してきた功績がたたえられ、このほど沖縄県警察本部長・沖縄防犯協会連合会会長連名表彰を受けました。同会は11月15日、町役場を訪れ、城間町長に受賞を報告しました。神里会長は「地道な活動が評価されてうれしい。これからも地域の安全のためにボランティアを続けてまいります」と受賞の喜びを語りました。



受賞報告に訪れた神里会長(右から3人目)と女性会の会員ら

青年たちの熱い夜！ 南風原青年フェスタ

南風原町青年連合会(湧川顕由会長)主催による第3回南風原青年フェスタ～第11回青年芸能祭～が11月24日、黄金森公園野球場で開催されました。各地区に受け継がれるエイサーや獅子舞などの芸能を青年たちが勇壮に繰り広げ、熱気あふれる舞台に観客からの大きな拍手と指笛が鳴り響きました。



照屋(舞方棒)



兼城(揚作田)



津嘉山



宮平(獅子舞)



神里



新川

北丘ハイツで小地域福祉ネットワーク発足

北丘ハイツ(仲本隆自治会長)で12月13日、小地域福祉ネットワーク「階の会」が発足しました。このネットワークは、地域住民が共に支え、たすけ合いながら暮らせる地域づくりのための福祉活動に取り組みます。発足式が同日、北丘ハイツ集会所で開かれ、仲本自治会長は「長い間望んでいたネットワークがついに実現しました。この集会所に集い、楽しく過ごしていきましょう」とあいさつしました。

また、ミニデイサービス(一般高齢介護予防通所事業)も同日開所されました。毎月第1・第3金曜日に実施され、看護師による健康チェックやレクリエーションなどが行われます。



レク指導員による転倒予防体操を楽しむ参加者ら

災害時は沖縄盲学校を避難所施設に

南風原町は沖縄盲学校(大田幸司校長)と11月25日、「避難所施設利用に関する協定」を結びました。この協定により、災害時は同校を避難所施設としてご提供いただけるほか、今後は避難訓練などを通して、町民と同校の児童・生徒が協力して防災意識・知識の向上を図っていきます。調印式が11月25日、町役場で開かれ、城間町長は「この協定にご理解いただきありがたい。健常者と障がい者が協力して避難できる体制をつくっていきましょう」と感謝しました。大田校長は「新校舎はユニバーサルデザインで誰もが利用しやすく、災害時はお役に立てると思います。地域と共に歩む学校づくりを進めてまいります」と話しました。



協定を締結した大田校長
(左から3人目)と城間町長